



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 自動車用板材事業説明会 「市場環境の現状と今後」

2023年12月18日

株式会社UACJ

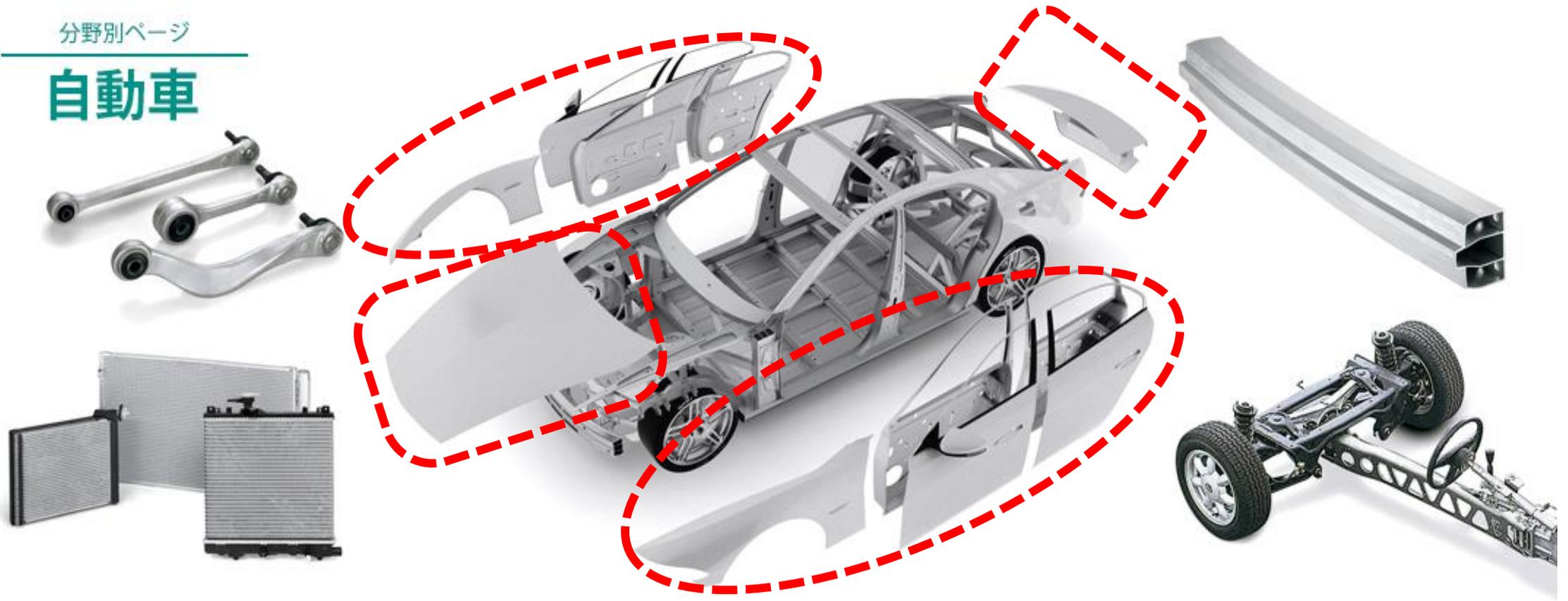
板事業本部 自動車材営業部



自動車には様々なところにアルミが活躍、今説明会では赤枠部が対象

分野別ページ

自動車



出典 : <https://www.aluminum.or.jp/jidosya/japanese/index.html>

# 国内での自動車用のアルミ板材について

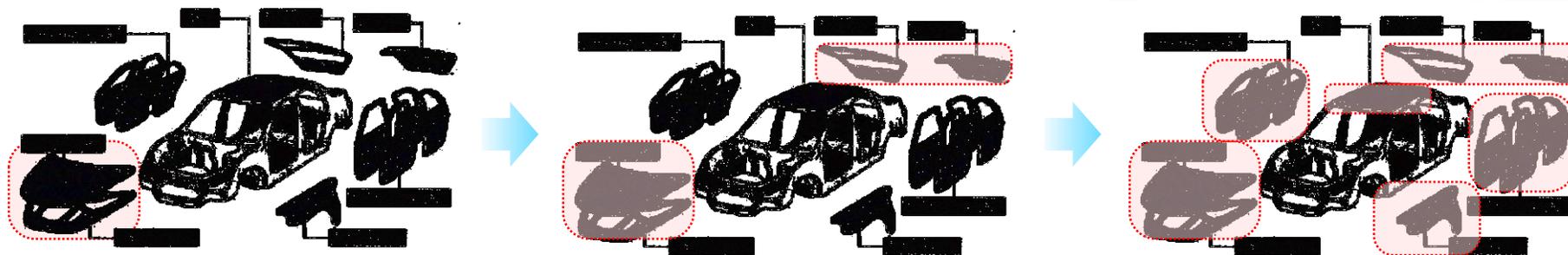
## 1台当たりのアルミ板材の使用量は、採用車種・部位の増加により拡大

乗用車1台当たりのアルミ板材使用量の増加イメージ

車種: スポーツカー中心  
⇒ 生産台数が少ない車種  
部位: ボンネット中心  
(一部オールアルミ車あり)

車種: 大型セダン、HV車  
⇒ 生産台数の多い車種へ  
部位: ボンネット、トランク・バックドアなど  
⇒ 部位が拡大へ

車種: 大型セダン、SUV、HV車、EV  
部位: ボンネット、トランク・バックドア、  
フェンダー、ドア、ルーフなど  
⇒ 採用車種、部位共に増加



1995

2000

2005

2010

2015

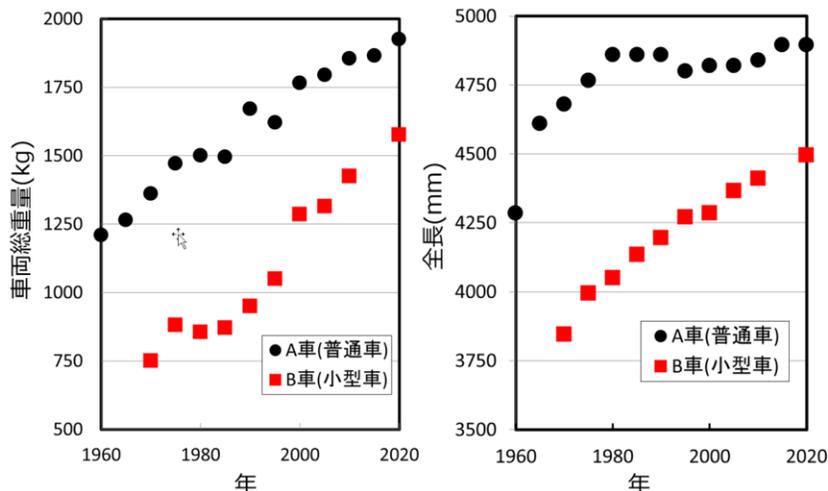
2020

出所: 当社調べ

# アルミ使用量の増加背景

## 車体の軽量化の手段として、アルミが採用される

### 車体重量の変化



出典：<https://www.aluminum.or.jp/jidosya/japanese/01/5-2.html>

### 車体重量

過去数十年で300~400kg増加

### 車体の長さ

全長が初期型比+200mm以上

車体の大型化が進んでいる

### 車両大型化(重量増)の背景

自動車安全基準の強化

部材厚さ増加など、  
フレーム構造等見直し

予防安全装置の搭載、  
自動運転化

レーダー、カメラ等の  
センサー類の増加

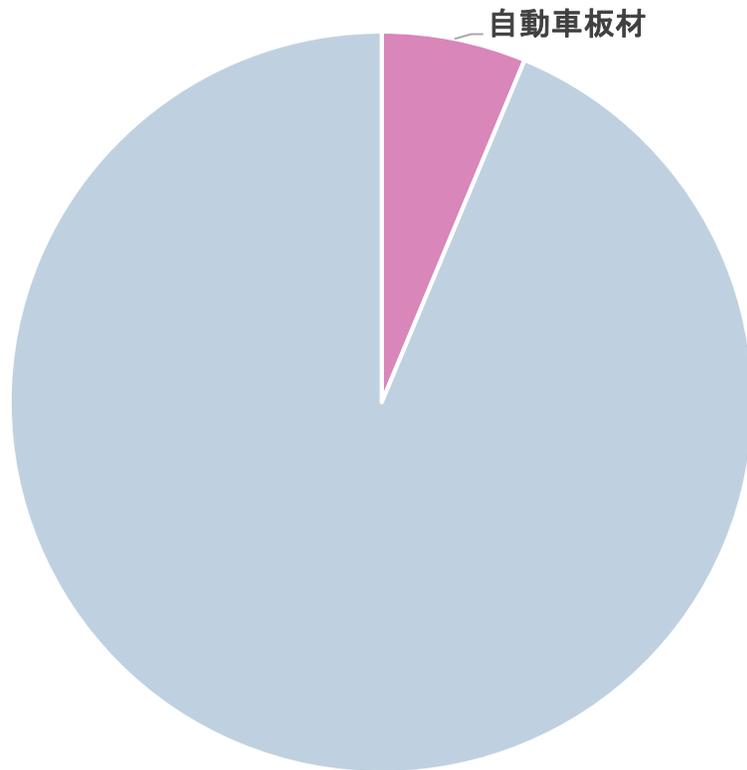
燃費・CO<sub>2</sub>排出量規制

車体の電動化  
⇒バッテリーによる重量増

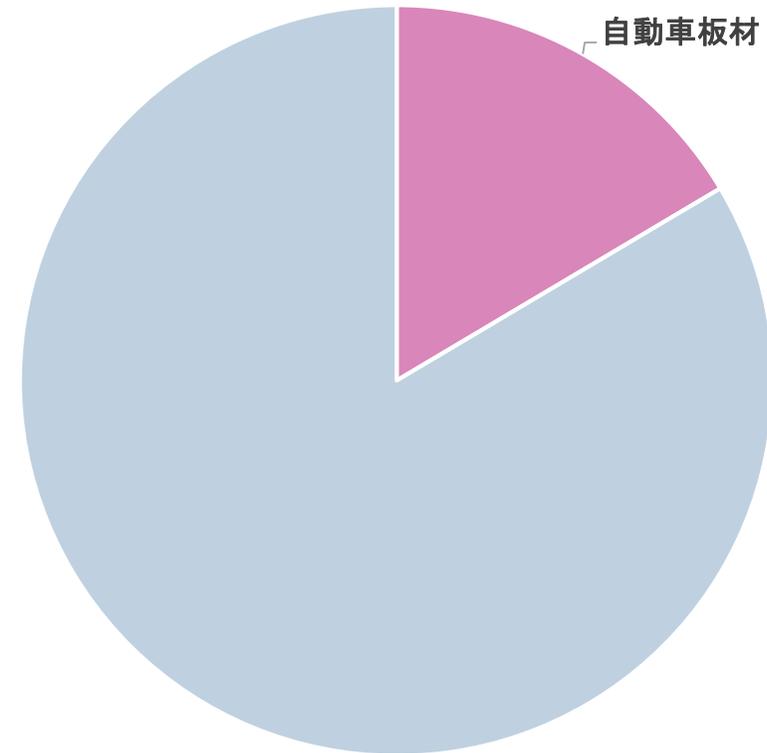
# UACJの国内板事業における自動車用板材の位置づけ

## 自動車用板材の需要増に伴い比率ともに増加

2017年度実績



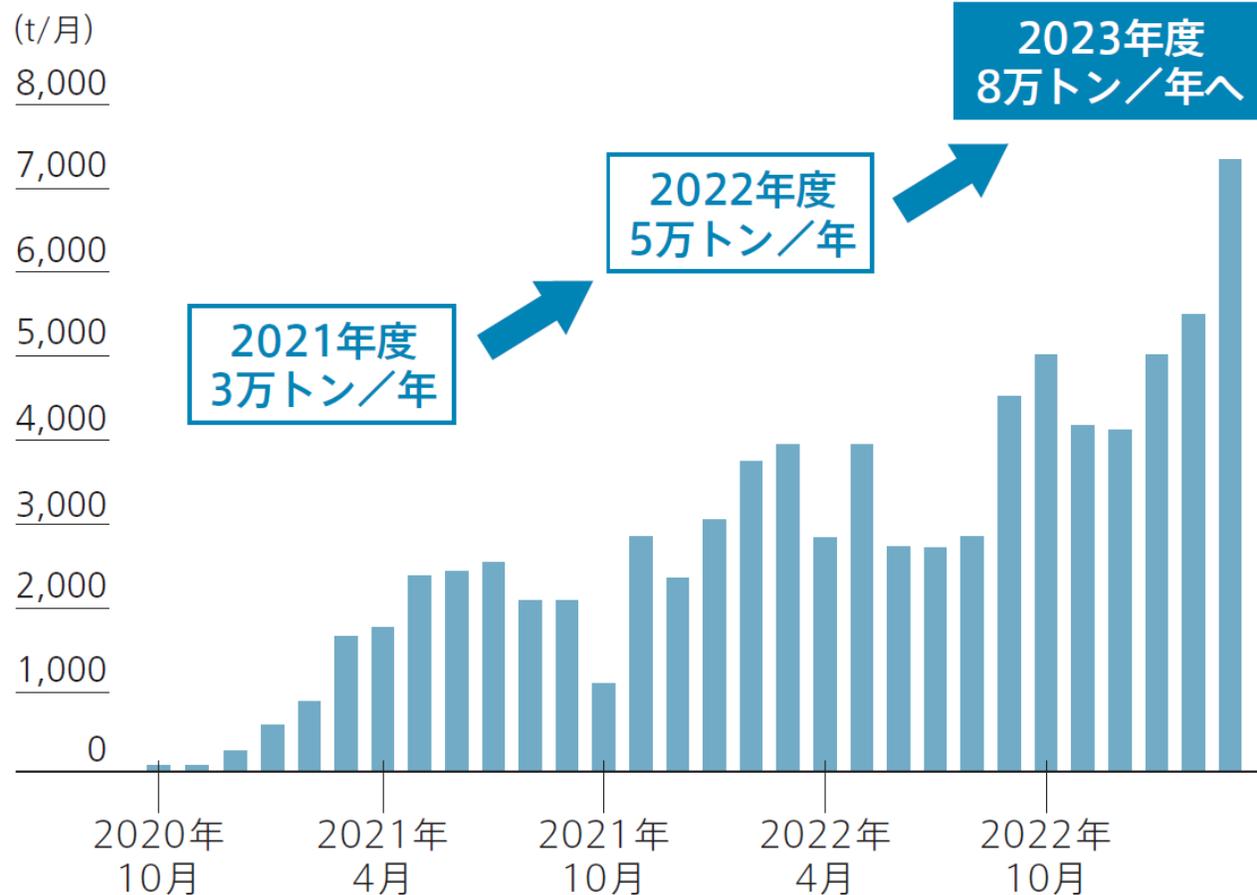
2023年度見通し



# 需要増に向けた供給体制の整備

## 自動車用板材の需要増に合わせて福井の自動車材生産量も増加

福井製造所の自動車用板材仕上設備の稼働実績



福井製造所に新設した  
自動車板材用仕上設備の  
早期戦力化

増加する需要に対応

## 自動車業界でカーボンニュートラルに対する取り組みが加速

自動車メーカー: 各社ともカーボンニュートラルに向けた取り組みを実施

走行時のCO<sub>2</sub>排出量削減



車両製造時のCO<sub>2</sub>排出量削減



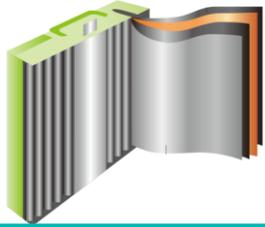
アルミの特性を活かし需要拡大の機会へ

✓ 軽量性

✓ リサイクル性

} 環境負荷低減に貢献

# EV用バッテリー部材へのアプローチ



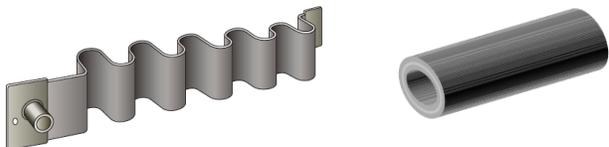
セル



モジュール



パック(筐体)

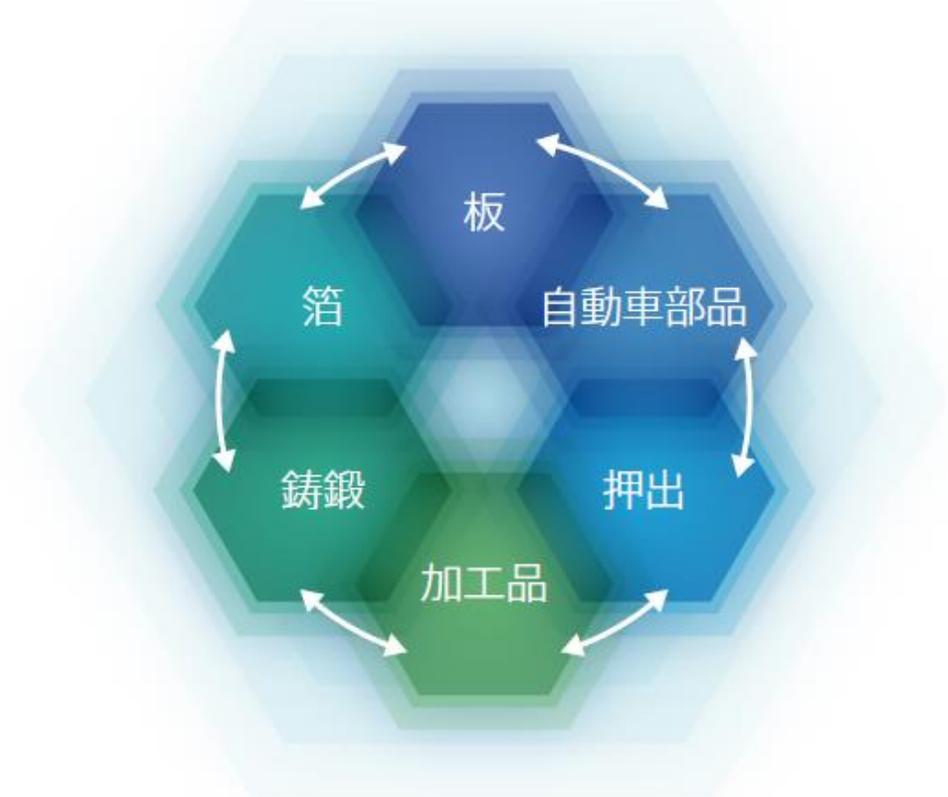


周辺部材

バッテリー各部材  
↓  
各事業分野が関係

UACJの強みを発揮

- 6事業の連携
- 多彩な加工力

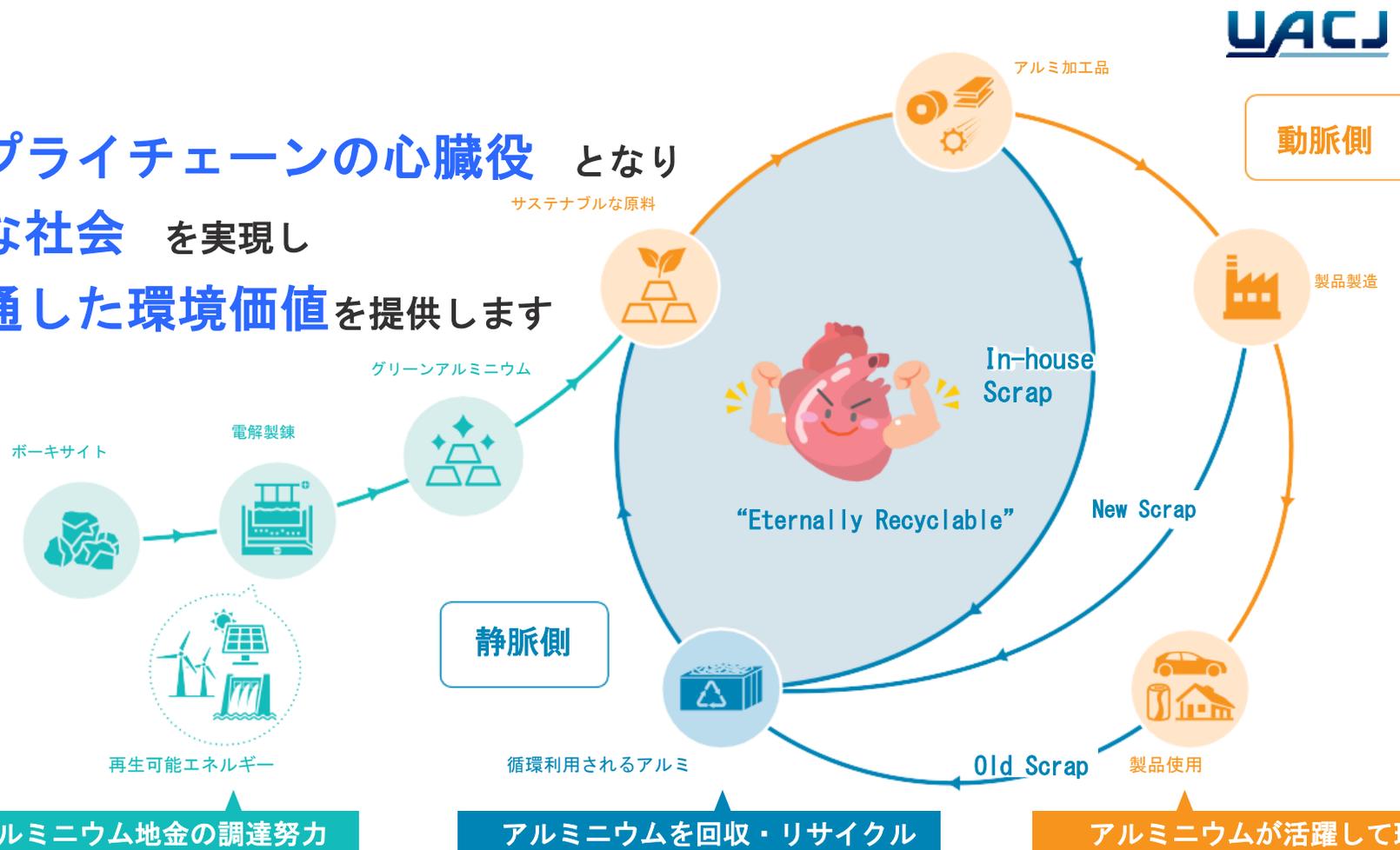


# サーキュラーエコノミーへの挑戦(UACJの取り組み)

- アルミニウムは『何度でも』『永久に』リサイクル可能な素材です

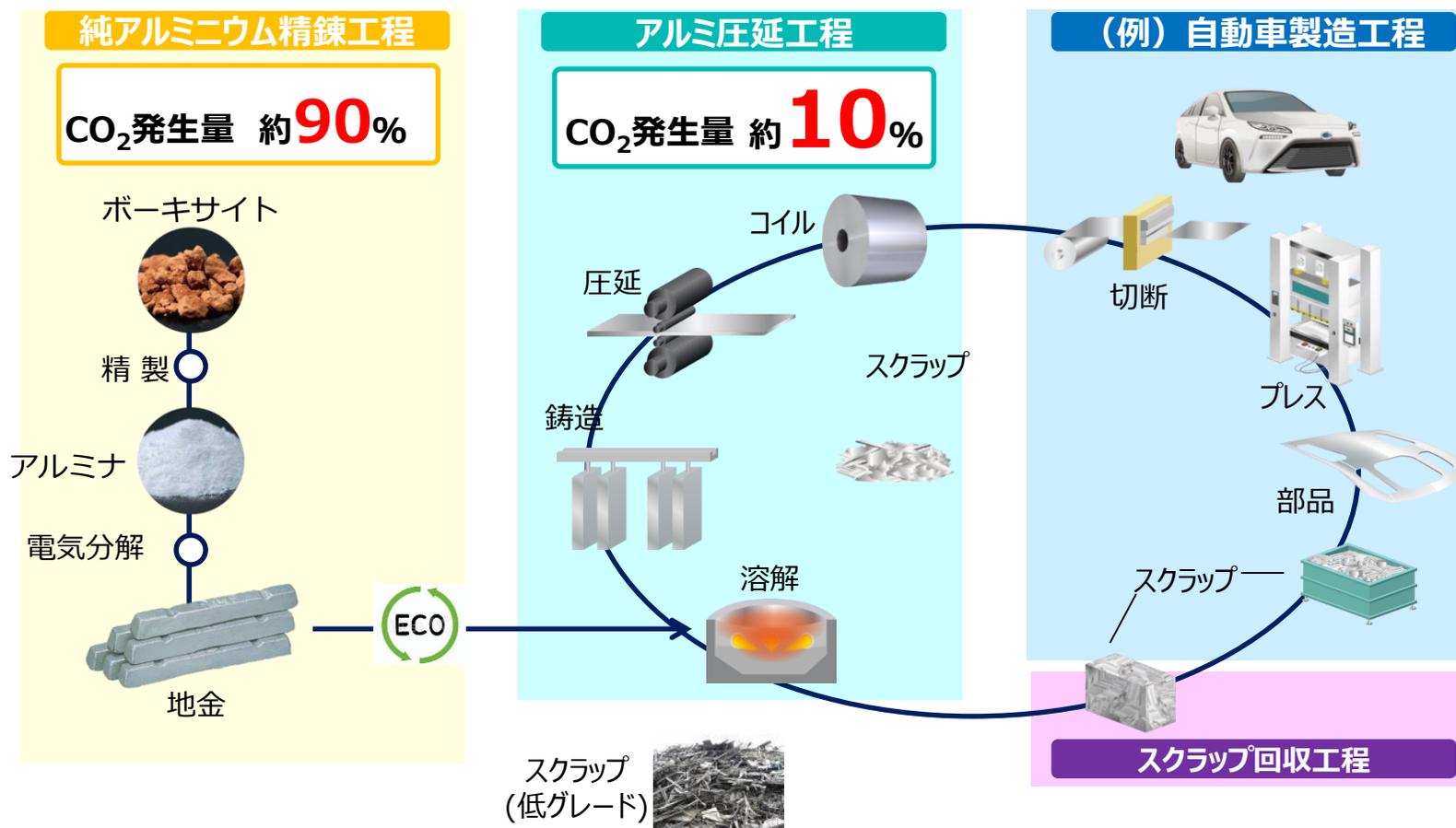
- UACJは

- ・ 循環型サプライチェーンの心臓役 となり
- ・ 持続可能な社会 を実現し
- ・ アルミを通じた環境価値を提供します



# サーキュラーエコノミーへの挑戦(自動車用板材における取り組み)

## アルミ材料製造～製品のフローと環境対策の取り組み



## 自動車用途におけるアルミニウムの可能性に期待

